

	課題分析	授業改善策	振り返り
1年	（算数）①基礎基本となる知識・技能の習得に差があること。②算数を学ぶことが楽しいことを実感し、主体的に算数を学ぶことができるようにすること。	①発言やノート、成果物を基に児童の習熟の様子を把握し、個に応じた指導を行う。②具体物やICT機器を積極的に活用し、算数の学習に関心をもたせる。	
2年	（算数）既習事項を使って課題に対する自分の考えをもつこと。自分の考えを説明すること。友達の考えから学ぶこと。	（算数）ICT機器を活用してノートの画面を共有して考えを交流する場面を設定し、考えを深めることができるようにする。	
3年	（算数）既習事項を生かして、自分の考えをもち、図や式や言葉で伝えること。自分の考えを伝え、自分の考えと比べて友達の考えを聞き、学ぶこと。	（算数）既習事項や前時の振り返りを行ってから本時に入るようにする。電子黒板を使って、具体的な解決場面をイメージしやすくし、自分の考えを書き、発信する力をつける。	
4年	（算数）自分の考えを積極的に伝えたり、友達の考えを自分の考えと比べながら聞いたりして、自分の考えを広げたり深めたりすること。	（算数）解き方の作戦を複数考えたり、友達に伝わりやすい表現を工夫させたりして、お互いにノートを見せ合いながら考えを共有させる。また、ICT機器を活用してノートの画面を共有する。	
5年	（算数）既習事項を生かして新しい問題に取り組むこと。友達の考えをしっかりと聞き、進んで自分の考えを伝えることを通して個人や学級全体の考えを深めること。	（算数）導入場面で既習事項を復習する時間を設定する。発表のルールを学年で統一する。オクリンクなどのICT機器を活用して交流・共有し、考えを深めることができるようにする。	
6年	（算数）自分の考えと他者の考えを比較検討したり、自分の考えを根拠を示しながら表現し伝えること。	（算数）図や表・式などを活用して根拠を提示し、ペアやグループ等でお互いの考えを交流する場面を毎時間確保することで、自分の考えを深めることができるようにする。（ノートだけでなくICT機器を積極的に活用する。）	
音楽	一人一人が考えや思いをもち、対話を通して、考えを広げたり、学びを深めたりすること。	教師の発問や助言の仕方を工夫し、児童の考えを引き出す。また、音楽で使う言葉を例示し、感じたことや考えを言語で表現することを支援する。	
図工	制作活動や鑑賞活動において、友人との言語活動を通して、自分の見方や考え方を広げ、表現すること。	言語活動を助けるための「コキラカード」を活用する。考えを引き出すための導入の工夫を行う。	
家庭科	知識・技能の習得に差があること。課題を解決する力を養うこと。	ICTと教師の実演を交えて、児童に知識・技能を身につけさせる。繰り返し復習させる。都度問題を投げかけ考えさせ、全体で考えを共有させる。	